



2015年 あけましておめでとうございます

いのち・暮らしが大切にされる市政へ、飛躍の年に



住民パワーで地方政治の変革を!

益田牧子



総選挙で日本共産党は 21 議席に大きく前進することができました。九州・沖縄では 1 議席から 3 議席に 3 倍化したことで、国政がより身近になりました。

4 月には、政令市移行後、初めての県・市議選で、議席増を目指します。私自身は、34 歳で市議選に初当選以来、皆様のご支援で、7 期 28 年市政に関わってきました。今度は県議選・第 2 選挙区(西区、南区)に挑戦することにしました。

ささやかながら、この 20 年間、週 1 回の市議会だよりを発行。新年号は 931 号になりました。党議席を 0 にした苦い経験から、日常的に市民の皆さんへ市政の問題・課題を知らせよう努めてきました。

私たちが毎号のように取り上げてきた MICE 問題や小中学校のエアコン設置、子どもの医療費無料化中 3 まで拡充などが市長選の争点になりました。

2015 年は、住民パワーで地方政治を変革する躍進の年にしたいものです。

決意と挑戦の年に

上野みえこ



総選挙の躍進に、激励の声をいただきながら迎えた新年、お寄せいただいた期待にしっかり応えられる 1 年にしていきたいと思えます。

昨年末の 12 月議会は、大西新市長との初めての論戦でした。市政史上最大のハコモノ・440 億円の MICE 施設推進の立場を鮮明にする市長のもとで、市民のいのち・暮らしをどのように守っていくのか、今後の市政のあり方が大きく問われてきます。

4 月は、政令市となって初めての一斉地方選挙です。県議会でも、市議会でも議席を増やして、市民生活を守る力を大きくしていきたいものです。

決意と挑戦の年にしたいと思います。

さらなる飛躍の年に

なすまどか



出産を控える妻の膨らんだおなかに手をあてると、一所懸命に生まれてこようとする我が子の力強い動きが伝わってきます。この子らに、戦争のない平和な社会、貧困に脅えることなく安らかに暮らせる社会を残すことこそ、私の最大の使命です。

大きく議席を伸ばした昨年の総選挙。「平和を守れ」「暮らしを守れ」との大きな声が結集した結果でした。今年は、この声をさらに大きく広げ、更なる飛躍を勝ち取る年にしていきたい決意です。

「国民が力を合わせれば、政治は必ず変えられる」—— 沖縄が示してくれた希望をしっかりと受けとめ、この 1 年間も全力で走りぬきたいと思えます。

桜町再開発・MICE 整備についての学習会

1 月 27 日(火)午後 6 時 30 分から、県民交流会館パレア第 1 会議室

(講師) 遠藤哲人氏 (区画整理・再開発対策全国連絡会議)・鳥飼香代子氏 (熊大名誉教授)

*再開発・都市計画の専門家を講師に学びます。どなたでも参加できます。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市中央区手取本町 1-1 議会棟

NO. 931
2015 年 新年合併号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

市政史上最大440億円の大会議場はやめて、暮らし・福祉優先の予算編成を！

日本共産党市議団と地区委員会で、新市長に対し、2015年度予算編成にあたっての要望書を提出

【重点要望】

- 1、桜町再開発へのMICE施設整備は中止すること
 県民百貨店・センタープラザテナントの営業継続・従業員の雇用確保に力を尽くすこと

市政史上最大のハコモノ・桜町再開発へのMICE整備は、再開発事業の補助金まで含め440億円もの税金投入です。人口減少・低成長時代にバブル期を上回る大型ハコモノを推進すれば、市財政は破たんします。しかも県民百貨店・センタープラザなど、1400人の雇用が奪われます。党市議団の市民アンケートでは7割がMICE建設に反対、市民の声を受け止め、MICE建設はきっぱり中止すべきです。

2、暮らし・福祉・教育最優先の市政に

- ①高すぎる国民健康保険料を引き下げること
- ②「さくらカード」の障がい者無料化、高齢者・被ばく者の負担増をしないこと、制度の存続
- ③「敬老祝い品」を「祝い金」にし金額を拡充、介護手当支給
- ④子ども医療費無料化制度を速やかに中学校3年まで拡充、待機児・保留児解消
- ⑤小中学校全学年「35人学級」に、全教室へのエアコンを設置を速やかに実施
- ⑥住宅・店舗リフォーム助成制度の創設
- ⑦若者の地元雇用の場の確保、ブラック企業の改善に取り組む

- ⑧原発廃止、自然エネルギーへの転換を推進
- ⑨立野ダム建設中止、ダムによらない治水対策
- 3、市民の安全・安心な暮らしを守るため、以下の5点を国へ要望すること

- ①集団的自衛権行使容認を撤回する
- ②原発は廃止し、自然エネルギーへの転換を図る
- ③消費税10%への増税は、先送りではなくきっぱり中止する
- ④TPPへの参加を中止する
- ⑤立野ダム建設を中止する



大西市長は、MICE整備について推進の立場ですが、「支持者の中にも疑問を持っている人がいるのは承知している。ムダなハコモノをどんどんやるつもりはない」などと述べました。それならば、市政史上最大のMICE整備は推進すべきではありません。

その他、「職員が現場に行くことが大事。税等の徴収についても、布団を引っ剥がすつもりはない」などと述べました。

【各分野の要望】

1、いのちを守る社会保障制度の充実

- ①後期高齢者医療制度、介護保険制度の改善
- ②障がい者福祉充実、憲法の立場での生活保護運用など

2、子育てや教育の応援を

- ③保育の充実、ひとり親家庭への支援強化
- ④児童育成クラブ、就学援助制度の充実
- ⑤小中学校へのエレベーター設置・トイレ改修など、バリアフリー化の推進
- ⑥学校図書館、市立各図書館の充実 など



3、雇用と暮らしを守り、地域経済の活性化を

中小企業支援策の拡充、官公需の地元発注推進、公契約条例制定など

4、自然と環境を守る取り組み

地下水保全の推進、自然エネルギー普及

5、防災対策

6、地元応援の公共事業等

7、住民サービス向上につながる「区制」に

8、市民サービス向上につながる「行財政改革」

「MICE建設中止と県民百貨店・プラザテナントの雇用確保」と、高すぎる国民健康保険料引き下げなどの重点9項目をはじめ、全121項目を要望しました。党市議団として、提出した要求実現に向け、全力で頑張ります。

